

歯髄幹細胞で肝臓を再生した 世界初の前臨床実験に成功



八重垣教授と石川客員教授が記者会見



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500

本学のシンボルマーク

◇東京・再生医療研究チームが記者会見◇

生命歯学部では、八重垣健教授(衛生学講座)と石川博客員教授(NDU生命科学講座)らが再生医療研究チームを構成し、ヒト歯からの歯髄幹細胞を用いた臓器再生研究を行っている。研究チームでは、ラットを使って肝再生による肝硬変治療法の前臨床実験に取り組み、移植した全例の治癒に世界で初めて成功した。

この研究成果は再生医療の専門メディア「Tissue Engineering」電子版に掲載され、iPS(人工多能性幹細胞)に続き日本が発信する新しい再生医療として、大きな期待が寄せられている。

十月十七日に生命歯学部会議室で行われた記者会見では、長年にわたり歯髄幹細胞に着目し研究してきたこと、ヒト乳歯・永久歯の歯髄から得た歯髄幹細胞から、肝臓、膵臓細胞分化を試みたところ、百パーセントが肝臓様体、膵臓様体に分化したことを発表した。

八重垣教授は記者会見で、一つひとつ肝臓様細胞から、三次元立体組織である臓器を再生するために、旧臓器をスキヤホールド(細胞接着のための足場)にするという発想が成功し、将来の再生医療に大きな道を開いた。自分の歯の細胞から、短時間で再生した臓器を疾病臓器と置換する再生医療の可能性が非常に高い。

八重垣教授は記者会見で、一つひとつ肝臓様細胞から、三次元立体組織である臓器を再生するために、旧臓器をスキヤホールド(細胞接着のための足場)にするという発想が成功し、将来の再生医療に大きな道を開いた。自分の歯の細胞から、短時間で再生した臓器を疾病臓器と置換する再生医療の可能性が非常に高い。

八重垣教授は記者会見で、一つひとつ肝臓様細胞から、三次元立体組織である臓器を再生するために、旧臓器をスキヤホールド(細胞接着のための足場)にするという発想が成功し、将来の再生医療に大きな道を開いた。自分の歯の細胞から、短時間で再生した臓器を疾病臓器と置換する再生医療の可能性が非常に高い。

第一生命 保険株が 主権する保 健文化賞を、静岡県 米山先生が受賞した。

米山先生は本学六十八回卒業プロフェッショナルトースクリーニングによる歯周疾患への効果の研究で、博士(歯学)を、口腔ケアによる高齢患者の肺炎減少の研究により、博士(医学)の学位を受領している。

保健文化賞を受賞する 米山武義先生(静岡)

賞は一九五〇年(保健文化)に創設されて以来、健康増進、疾病予防などの保健医療分野、高齢者、障害者に対する誤嚥性肺炎

静岡県駿東郡で開業する米山先生は、要介護高齢者に対する誤嚥性肺炎

☆2015年(平成27)1~2月 東京 再生医療の区民公開講座を開催☆

~日本歯科大学区民公開講座~

- いま、話題!!
- 「再生医療ってなんですか?」シリーズ(全4回)
- 第1回 平成27年1月21日(水) 18:00~19:00
「日本歯科大学がめざす再生医療のカタチ~その1~」
 - 第2回 平成27年2月4日(水) 18:00~19:00
「日本歯科大学がめざす再生医療のカタチ~その2~」
演者: 生命歯学部発生・再生医科学講座 教授 中原 貴
 - 第3回 平成27年2月18日(水) 18:00~19:00
「骨欠損を埋めるために自分の脂肪組織から骨を作製する再生医療」
演者: 生命歯学部NDU生命科学講座 准教授 大山晃弘
 - 第4回 平成27年2月25日(水) 18:00~19:00
「自分の細胞で丸ごと歯を作ろう」
演者: 生命歯学部NDU生命科学講座 客員教授 石川 博
- 会場: 日本歯科大学100周年記念館 地下1階 九段ホール
- ※どなたでも参加できます(事前申込み等は不要です。直接ご来場ください)
- 問合せ先: 日本歯科大学庶務部 (月~金 9:00~17:00)
TEL 03-3261-8452



歯の模式図を用いて歯髄幹細胞について説明する八重垣教授(中央)、右隣は石川客員教授

歯の模式図を用いて歯髄幹細胞について説明する八重垣教授(中央)、右隣は石川客員教授

准教授 佐藤 利英
博士(歯学) 高塩 智子
准教授 二宮 一智
博士(歯学) 有友たかね
准教授 鴨田 剛司
博士(歯学) 小野 幸絵
博士(歯学) 新谷 明喜
准教授 今井 敏夫
博士(歯学) 古俣 弥枝子
准教授 石川 博
博士(歯学) 石川 博

辞令

医療職員 富山 優子
(看護師) 新潟病院看護科に配置換を命ずる(医科病院看護科)
医療職員 古俣 弥枝子
(看護師) 新潟病院看護科看護師長を命ずる

准教授 今井 敏夫
博士(歯学) 新谷 明喜
准教授 石川 博
博士(歯学) 石川 博

DVDを制作

本学ではDVDビデオ「日本歯科大学 生命歯学のフロントランナー」(写真を製作し、両学部のオープンキャンパス参加者や関係者に配付している。

この三十九分間のDVDでは、インタビューなど学生の目を通して東京と新潟での授業風景や学生生活を紹介した。



NDU UBC Exchange 2014



羽村章生命歯学部長主催のランチオンパーティ、以前の同行教員も参加



夕闇せまる新潟、レストラン・スクエアでのウェルカムパーティ



新潟生命歯学部は、スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(CRIP)の日本代表

選抜大会に第一回から第二回まで連続参加していることから、八月二十日に開催された第二十回大会において表彰された。



本年度に発表した新潟の学生たち 中央・関本歯学部長、右端は葛城啓彰教授

この秋、飯田橋駅西口の界隈が一変しました。元警察病院から通信病院の手前まで、広い一帯が再開発されたのです。あの狭い西口をでると、誰もがギョッとします。二棟の巨大なビルが、壁のようにそびえ立っています。手前の一棟は三〇階建のビジネス棟で、奥は四〇階建のマンション棟です。両棟は階高がちがうので、見た目には同じ高さにみえます。ビジネス棟には会社企業が入り、橋駅西口界隈は、都内で最高の環境となりました。一度、お越しください。(S)

居住します。▼ビジネス棟の一階には、郵便局、薬局、コンビニのローソン、スーパーの成城石井、カフェのスターバックス等が開店しました。二階と三階には、十四軒のレストラン&カフェ等が十月初めにグランドオープンしました。▼早稲田通りの靖国神社側西口のこの近代的なビルがひろがります。その真中に本学の体育館が、モダンな存在感をみせて建っています。飯田橋駅西口界隈は、都内で最高の環境となりました。一度、お越しください。(S)

国際障害者歯科学会を受賞した古屋裕康大学院生

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

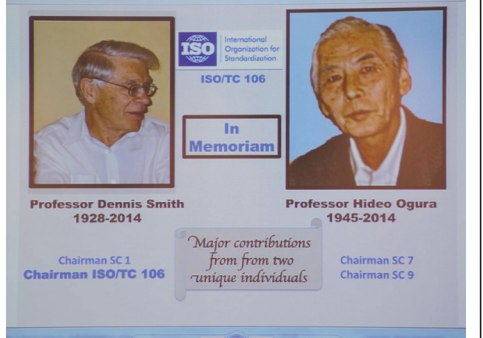
古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

☆ISOベルリン会議☆ 小倉名誉教授の逝去を悼む

第五十回ISO/TC 106(国際標準化機構/歯科器材専門委員会)は、九月十五日から二十日までドイツ・ベルリンで開催された。本年一月に逝去した小倉英夫名誉教授(歯科理工学・前新潟生命歯学部長は、口腔衛生用品やCAD/CAMの国際規格の分科会議長を務めていた。



会議場に掲げられた故小倉名誉教授の遺影(右)

小倉名誉教授は、口腔衛生用品分科会では、一九九六年から二〇一〇年までの十五間にわたる議長を務め、十一編の国際規格を作成した。ISO/TC106会議では、小倉名誉教授はじめ、今年逝去された功労者の遺影を掲げて業績を称え、出席者一同で黙祷した。

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

最終記念講義 新谷明喜教授(補綴) 生命歯学部歯科補綴学第二講座の新谷明喜教授の最終記念講義が、九月四日午後六時から九段ホールにおいて開かれた。会場では、教職員、同門会員、大学院生、学生ら多数が最終

講義を聴講した。演題は「二世に立つための補綴学」で、新谷教授は長年の研究テーマである歯科修復の新材料と新技術の開発の歴史、ならびに最近の動向について解説した。

新谷教授は、昭和四十六年本学卒業(第六十

中原泉学長から記念トロフィーを手渡される新谷明喜教授

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

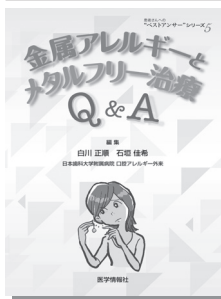
古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

古屋裕康大学院生は、十月二日から四日までドイツ・ベルリンで開催された第二十二回国際障害者歯科学会(iADH)において優秀ポスター賞

患者さんへの“ベストアンサー”シリーズ5 金属アレルギーとメタルフリー治療 Q&A

編集：白川正順(元日本歯科大学教授・附属病院口腔外科) 石垣佳希(日本歯科大学准教授・附属病院口腔外科) 執筆：日本歯科大学附属病院 口腔アレルギー外来

安心・安全の歯科治療のために、金属アレルギーの成り立ちと、診断、治療をわかりやすく解説しました。



Q: 歯の詰め物やかぶせ物は、金属アレルギーの原因になるんですか? A: 歯の詰め物やかぶせ物には、どんな金属が使われているんですか? ... NOTE: 金属アレルギーのメカニズム ...

◆A4判 ◆40頁 ◆カラー ◆定価: 本体 3,000円 + 税

医学情報社 〒113-0033 東京都文京区本郷 1-4-6 TEL.03-5684-6811 FAX.03-5684-6812

第27回 姉妹校交換学生

日本歯科大学の交換学生制度は、姉妹校であるカナダ・ブリティッシュコロンビア大学(UBC)とアメリカ・ワシントン州立大学(UW)との間で行われている、本学独自の教育プログラムである。

毎年、東京と新潟の両学部の五年生から、各三名ずつ選ばれた六名の学生グループが、登院実習終了後の春にUBCとUWの両校を訪問し、その後の夏にUBCの学生を受け入れて相互に研修と親睦を深めている。一九八六年より始まり、国際性豊かな医療人の育

成を目的としたこのプログラムは、今回二十七回目を迎え、派遣と受入れは総計三八〇名になる。本年度の日本からUBCとUWの両校訪問は、三月八日〜二十二日まで日程で行われた。学生

カ・シアトルのUWでは、歯学部副部長のChan先生に歯学部の教育システムやカリキュラムなどの説明を受けた後、病院内を案内していただいた。日本の学生たちは広い病院のフロアで、わが国と

吸収しようとしていた。また、学生用の実習室は自主的に技術習得を目指す学生のために夜遅くまで開放されており、我々が立ち寄った時にも、多くの学生が窩洞形成やワックスアップ等の自習

を希望する学生まで数名とピザを食べながら、講義や将来のこと、趣味のことなど、いろいろ直接話をすることができて、非常に刺激を受けたことと思う。UW学生の中には日本のアニメに興味を持ち日本語を勉強している学生もいたので、時に日本語も飛び交い、あつという間に時間は過ぎた。

UBCではここ数年、本学の学生一人につきいてUBCの学生一名がバディとして担当し、終始きめ細かい対応をしてくれている。本年度のUBCのメインメンバーは二年、三年生の両学年からなり、講義や実習で彼らが忙しい合間、放課後には、夕食時や休日などに、今までのこの交換学生プログラムに参加した学生や他のUBCの学生たちと一緒に食事を共にして交流するチャンスもあり、多くの友人ができたようである。この期間中にFacebook登録され

た友人の増加量は半端な数ではない。しかも多国籍で国際性豊かな仲間たちである。カナダ・アメリカの歯科事情、教育事情を肌で感じるだけでなく、文化のこと、日本のこと等も振り返り考えを巡らせてみる良い機会になったようだ。

帰国後、本学学生も六年生となったこの夏、国家試験の準備を行いながら七月二十七日〜八月十一日の期間、UBCの学生が来日し、再会を果たした。はじめの一週間は東京で、後半一週間を新潟で過ごした。

東京では、大学主催の歓迎会後、生命歯学部や附属病院で研修を行い、GCCコーポレートセンターにおいて、日本製の歯科材料やユニット器材などを見学した。余暇の時間には、テクノの街秋葉原や浅草寺提灯からスカイツリーなど東京ならではの名物を楽しみ、休日は箱根で温泉を初体験し、小田原城を背景に武士姿に変身した。新潟では、新潟病院や



Chan歯学部副部長の案内でUW病院を見学



新潟祭りの定番! 市民神輿にも一同で参加する



名残りを惜しみつつ...、東京ドームホテルで



大変顔大会!? UBCのウェルカムパーティ



附属病院では患者ロボット・シムロイドを体験

医科病院、医の博物館、ITセンターなどを見学した。今年は大台風の影響で花火大会は逃したものの、楽しみにしていた市民神輿や民謡流しなども体験し、日本文化に大いに触れることのできた滞在となった。

このプログラムの目的である広い視野をもち、国際人として交流を深めるということは、今回それぞれが達成できたのではないかと感じている。そして体験したことをこれからの生活に活かし、また得られた知識を後輩や友人、沢山の学生たちに提供して、このプログラムが両国の学生にとって、さらには有意義なものへと発展することを期待する。

派遣と受入れ 総計三八〇名に

私たちは半年前の秋に選出され、それぞれ春までに語学や日本文化、医療・歯科事情などについて勉強したり情報を収集したりして、交流を楽しみにしていたようである。

は違った材料や器具など興味深いものを見つけること、病院スタッフや学生に熱心に質問する。説明を受けながら、快く挨拶や返事を返してくれたこととを記録にとるなどして、新しい多くの知識を

を行っていたのが印象的だった。今回からUWの計らいで、歯学部生とランチをとりながら交流を図る機会が新たに設けられた。歯学部の一年生から四年

よく勉強し、真摯に学生生活に取り組んでいる様子を目の当たりにして大いに奮奮、おいしいシーフードそして過ごしやすそうなお店の街を後に、次の地であるカナダ

また休日を休むという貴重な体験を共にすることができた。三年生の小児歯科学の講義に出席したり、患者の診療を行っている三、四年生の登院実習に付き添って、修復や矯正治療の見学をしたり

は、夕食時や休日などに、今までのこの交換学生プログラムに参加した学生や他のUBCの学生たちと一緒に食事を共にして交流するチャンスもあり、多くの友人ができたようである。この期間中にFacebook登録され

歓迎会後、生命歯学部や附属病院で研修を行い、GCCコーポレートセンターにおいて、日本製の歯科材料やユニット器材などを見学した。余暇の時間には、テクノの街秋葉原や浅草寺提灯からスカイツリーなど東京ならではの名物を楽しみ、休日は箱根で温泉を初体験し、小田原城を背景に武士姿に変身した。新潟では、新潟病院や

新潟生命歯学部 (ブリティッシュ・コロンビア大学) Mr. Dennis Nguyen Mr. Siavash Alam Mr. Reza Entezarian Mr. Soroush Liaghat Ms. Jiya Jung Ms. Anna Molavi Ms. Ruby Wu (同行教員) 河上智美(生命歯学部小児歯科学講座講師)



中原泉学長から修了証を手渡されたUBC学生



今年はバンクーバーの海岸でジャンプ!



箱根の宿では浴衣ですっかりくつろぎました



ワシントン大学のスザロ・アレン図書館前で



バンクーバーではDr.Grakouiのお宅に招かれて

東京では、大学主催の歓迎会後、生命歯学部や附属病院で研修を行い、GCCコーポレートセンターにおいて、日本製の歯科材料やユニット器材などを見学した。余暇の時間には、テクノの街秋葉原や浅草寺提灯からスカイツリーなど東京ならではの名物を楽しみ、休日は箱根で温泉を初体験し、小田原城を背景に武士姿に変身した。新潟では、新潟病院や

河上智美(生命歯学部小児歯科学講座講師)

NHKクローズアップ現代 長寿の鍵は「口」にあり ～口腔ケア最前線～

NHK ONLINE (http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku/detail_3587) に放映内容が掲載中



毎週月曜木曜日の七時半からのNHK番組「クローズアップ現代」は、十二月一日、「長寿の鍵は「口」にあり」のタイトルで口腔ケアの重要性を特集した。全身の疾病の改善、がん手術後の副作用と

併症の抑制、介護高齢者の認知機能の快方に口腔ケアが深く関わり、健康長寿を伸ばす「鍵」として注目されていることが紹介された。

にホテルニューオータニで開催された平成二十六年秋の火災予防運動「防災のつどい」で行われ、三代冬彦附属病院院長に勲町消防署長から賞状が授与された。

自衛消防隊は、三代病院院長を隊長とし、教職員ならびに防火管理を委託するジャパンプロテクション株式会社・鹿島建物総合管理株式会社の要員から編成、災害防止に対応できるように訓練を行う。

いのちを守る口腔ケア

新潟／福祉・介護・健康フェア 本学学生らが発表

十一月三日(祝日)新潟市中央区の朱鷺メッセで開催された「福祉・介護・健康フェア」で新潟生命歯学部の中彰教授(口腔外科学)が進行役となり、県内の医療系大学の学生たちが、高齢者の疾病予防と口腔

ケアの重要性についてプレゼンテーションを行った。このフェアは、新潟日報社、新潟県福祉協議会、新潟市福祉協議会の主催によるもので、本年度は三回目。当日の参加者は一万三千人を数えた。

展示ゾーンでは、福祉・介護関係の企業や団体も義歯の清掃や口腔ケアなどのブースを設け、一般市民の相談に応じた。会場内の特設ステージでは、県内の医療関係者やジャズシンガー・綾戸智恵さんの講演が行われた。

た。そして、午後三時からメインステージにおいて「医療・介護の現場をめざす学生と考える」の発表があった。新新潟生命歯学部、新潟短期大学、新潟大学医学部など、歯科医師、歯科衛生士、医師、看護師、言語聴覚士をめざす学生たちが二人づつ、約十分間口腔ケアの重要性と留意点などについて発表した。また学生たちの間でもそれぞれの立場から質疑応答があった。コーディネーターの田中教授は、医療現場での各事例について説明しながら、口腔ケアによってさまざまな病や合併症の予防が可能であることを力説した。

学生たちの発表を聞いた参加者たちは、医師や歯科医師だけでなく、医療職をめざす学生たちから、口腔ケアの重要性を双方向の議論で聞くことができ、とても有意義な講演だったと感想を述べていた。

表彰式は十一月十四日、三代冬彦附属病院に授与された。

自衛消防隊は、三代病院院長を隊長とし、教職員ならびに防火管理を委託するジャパンプロテクション株式会社・鹿島建物総合管理株式会社の要員から編成、災害防止に対応できるように訓練を行う。

中央・白衣姿の三代病院院長



エッ！まさかの日歯大キティ♡

今年で四十周年を迎えたハローキティ。日本発「ニッポン・カワイイ」文化の代表的キャラクターとして、世界一三〇カ国で関連グッズが販売されている。そんなキティが、歯科医師・日本歯科大学バジジョンのぬいぐるみで登場した。濃紺のストライプは多摩クリニックスの歯科医師用白衣で、ハンドピースを抱

この「日本歯科大学キティ」は、サンリオとのコラボによるもの。東大・早稲田等の東京六大学や、京大、同志社、青山学院、白百合学園などでは、ストラップ、ぬいぐるみ、クリアファイルが大学限定キティとして製作・販売されている。歯科医師キティはもちろんだが、学・歯学部とコラボしたのは本学が初めて。東京と新潟の両学部売店で限定販売中。二月に東京で開催される学術フォーラム2015のミニデタルショーでも販売される。

併症の抑制、介護高齢者の認知機能の快方に口腔ケアが深く関わり、健康長寿を伸ばす「鍵」として注目されていることが紹介された。

にホテルニューオータニで開催された平成二十六年秋の火災予防運動「防災のつどい」で行われ、三代冬彦附属病院院長に勲町消防署長から賞状が授与された。

自衛消防隊は、三代病院院長を隊長とし、教職員ならびに防火管理を委託するジャパンプロテクション株式会社・鹿島建物総合管理株式会社の要員から編成、災害防止に対応できるように訓練を行う。

中央・白衣姿の三代病院院長

自衛消防隊は、三代病院院長を隊長とし、教職員ならびに防火管理を委託するジャパンプロテクション株式会社・鹿島建物総合管理株式会社の要員から編成、災害防止に対応できるように訓練を行う。

校友会会員 創立記念式典特別参列制度 ジュビリー-5025

日本歯科大学校友会(近藤勝洪会長)では、毎年卒業五十年・二十五年の校友会員が、六月一日の本学創立記念式典に参列する「創立記念式典特別参列制度(ジュビリー-5025)」を二〇一五年より実施することになった。

来年度六月一日(月)の該当者は、卒業五十年(ゴールドジュビリー)五十四回卒の校友会員一〇九名、卒業二十五年(シルバージュビリー)七十九回卒の校友会員一八一名(会員数は二〇一四年十月二十三日現在)。

参列者に対しては校友会から記念品を贈呈し、式典終了後ホテルグランドパレスにおいて本学主催により、式典参列者と

創立記念式典特別参列制度参加者のパーティを開催する。

なお本紙第一七六号によれば、第五十四回卒の卒業式は一九六五年(昭和四十)三月二十五日午前十時より本学新館第三会議室(当時)において本橋康助助教授の司会で行なわれ、一六五名の新歯学士が誕生した。また第四三九号によれば、第七十九回卒業生は

●学術フォーラム2015開催のお知らせ●

とき/平成27年 2月15日(日) 9:30~17:00
ところ/日本歯科大学生命歯学部本館

学術フォーラムは、毎年進化しています。今年度は演題数を10に抑えて、その分各講演時間を延長しました。3会場で同時に進行しますので、受講者は最多4題まで受講することができます。より多くのご参加をお願いします。(歯科衛生士・歯科技工士の方も歓迎します)

●演者ならびに演題(9:45~16:30)
最新の理論や技術、整理しておきたい知識などを企画しました。テーブルクリニック(TC)はどなたでも聴講可能ですが、ハンズ・オン(実習)希望者は、各回定員制(申込・入金済の方から先着)です。

講演1: 松野智宣「骨増生のABC~骨補填材の選択から臨床応用まで~」
講演2: 丸茂義二「顎機能を変えるSLP(Sub Lingual Plate)」
講演3: 大山晃弘「あなたの歯があなたを救う再生医療セルバンク」
講演4: 加藤雄一「安心して治療を行うために知っておきたいところの診かた」
講演5: 北村和夫「目からうろこのコア除去法」

●ランチョンセミナー(軽食は事前申込み)
小川信太郎:「もっとと光を」修復物の効果的研磨大作戦

TC1: 原 節宏「-マイクロストレッチとセルフケアで対応する-筋膜痛由来の顎関節症非歯原性歯痛ハンズオンセミナー」
TC2: 竹井 潤「鉤歯の支台形成から考える壊れにくいパーシャルデンチャーへの道- スッキリわかるレストシート形成-」
TC3: 水谷太尊「歯科手術攻略テクニク-自己流の見直しとスキルアップ-」
TC4: 楊 秀慶「的確な歯の外傷への対応~患者さんとの信頼関係の構築~」

●ミニデタルショー(9:30~17:00)
※申込み方法等の詳細は、『校友会・歯学会報』40巻2号同封の「学術フォーラム2015開催のお知らせ」および校友会ホームページに掲載
HPアドレス▷ <http://www.koyu-ndu.gr.jp>

平成27年度 日本歯科大学歯学会大会

とき:平成27年6月6日(土) 11:00-16:30(予定)
ところ:新潟生命歯学部講堂、アイヴィホール

メインテーマ:健康寿命と歯科医療

○公開シンポジウム

基調講演:高森 等(附属病院インプラント診療センター)
シンポジウム:廣安 一彦(新潟病院口腔外科)
菅原 佳広(新潟病院総合診療科)
中原 賢(新潟生命歯学部先端研究センター)

○学術研究奨励賞受賞講演

○研究発表:ポスター展示

大会長 吉江 紀夫(新潟生命歯学部解剖学第2講座)
準備委員長 辻村麻衣子(新潟生命歯学部解剖学第2講座)

NipponDentalUniversity
59th FUJIMI FESTIVAL



2014
NOV 1(sat)-2(sun)



第79回 卒業式挙行す

第54回卒業式を報じた『日本歯科大学新聞』第176号(上)と、第79回卒業式の記事を掲載した439号(右)

